

豚ストレプトコッカス・スイス(2型)  
感染症(酢酸トコフェロールアジュバント加)不活化ワクチン(シード)

劇薬 動物用医薬品 **ポーシリス STREPSUIS** 使用説明書

使用前に必ず本説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。

製法及び性状

本剤は、豚ストレプトコッカス・スイス血清型2型菌の培養菌体を不活化した後、アジュバント、乳化剤、消泡剤、等張化剤及び緩衝剤を加えて乳化し、小分け分注したものです。  
本剤は、白色不透明、水様の均一な懸濁液で、pHは6.7～7.3です。

成分及び分量

ワクチン 1バイアル 20mL (10頭分) 中	
ストレプトコッカス・スイスP1/7株 (2型菌) (シード) 不活化全菌体抗原 (波長600nmで吸光度18に相当する菌液)	1 g
トコフェロール酢酸エステル	1.5 g
ポリソルベート80	0.6 g
シメチコン	1 mg
塩化ナトリウム	124.6 mg
リン酸二水素カリウム	10.4 mg
リン酸水素二ナトリウム二水和物	25.6 mg
注射用水	残 量

効能又は効果

ストレプトコッカス・スイス血清型2型菌の感染による豚のレンサ球菌症の発症の軽減

用法及び用量

ワクチンの2mLを2週齢以上の豚に、3週間間隔で2回、頸部筋肉内に注射する。

使用上の注意

【一般的注意】

- 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。
- 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- 本剤は効能・効果において定められた目的のみ使用すること。
- 本剤はシードロットシステムにより製造され、国家検定を受ける必要のないワクチンであるため、容器又は被包に「国家検定合格」と表示されていない。

【使用者に対する注意】

誤って人に注射した場合は、患部の消毒等適切な処置をとること。誤って注射された者は、必要があれば医師の診察を受けること。その際、動物用油性アジュバント加ワクチンを誤って注射されたことを医師に告げるとともに本使用説明書を医師に示すこと。

本ワクチン成分の特徴

抗 原		アジュバント	
微生物名	人獣共通感染症の当否	有 無	種 類
ストレプトコッカス・スイス P1/7株 (2型菌) 不活化全菌体抗原	当	有	トコフェロール酢酸エステル

本ワクチン株は、不活化されており感染性はない。

本ワクチンに関するお問い合わせは下記までお願いします。

松研薬品工業株式会社 〒184-0003 東京都小金井市緑町5丁目19番21号

TEL: (042) 381-0075 FAX: (042) 381-0344

【豚に対する注意】

1 制限事項

- 本剤の注射前には健康状態について検査し、重大な異常(重篤な疾病)を認めた場合は注射しないこと。ただし、緊急予防の必要がある場合はその限りでない。その場合、注射適否の判断を慎重に行い、対応すること。

裏面へ続く

表面より続く

- 対象豚が、次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質等を考慮し、注射の適否の判断を慎重に行うこと。
  - 発熱、下痢、重度の皮膚疾患など臨床上異常が認められるもの。
  - 疾病の治療を継続中のもの又は治療後がないもの。
  - 交配後間がないもの、分娩間際のもの又は分娩直後のもの。
  - 明らかに栄養障害があるもの。
  - 他のワクチン接種や移動などによりストレスを受けているもの。
  - 他の薬剤投与、導入又は移動後間がないもの。

(3) 投与後の制限事項

本剤の注射後、少なくとも1～2日間は安静につとめ、移動や激しい運動は避けること。

2 副反応

本剤の注射後、体温のわずかな上昇、あるいはふらつきが認められることがある。また本剤の注射後、注射局所にまれに腫脹が起こることがある。これらの症状は注射24時間以内には消失する。

3 相互作用

本剤には他の薬剤(ワクチン)を加えて使用しないこと。

4 適用上の注意

- 注射部位を厳守すること。
- 注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く)。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- 注射器具(注射針)は原則として1頭ごとに取り替えること。
- ワクチン容器のゴム栓は消毒し、無菌的に取扱うこと。
- 滅菌済みの注射針をゴム栓から刺し込み、ワクチンを注射器内に吸引して使用すること。ゴム栓を取外しての使用は、雑菌混入のおそれがあるので避けること。
- 注射部位は消毒し、注射時には注射針が血管に入っていないことを確認してから注射すること。

【取扱以上の注意】

- 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
- 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- 一度開封したワクチンは速やかに使用すること。使い残りのワクチンは雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。
- 使用時にワクチンを室温に戻すこと。
- 使用時よく振り混ぜてから使用すること。また使用中にも時々ワクチンを振盪すること。
- 開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。
- 使い残りのワクチンは紙等で吸い取り可燃物として処分し、また、容器は地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

【保管上の注意】

- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 直射日光、加温又は凍結は、本剤の品質に影響を与えるので避けること。

貯法及び有効期間

- 2～10℃に保存する。
- 有効期間は、製造後3年間(最終有効年月は外箱及びラベルに表示)。

包装

20mL(10頭分)、50mL(25頭分)又は100mL(50頭分)のPETボトル 1本又は10本

【注意】 獣医師等の処方せん・指示により使用すること。

製 造 元 インターベット・インターナショナル社 (オランダ)

製造販売元 松研薬品工業株式会社

総発売元 株式会社インターベット

〒184-0003 東京都小金井市緑町5丁目19番21号

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12

TEL: (042) 381-0075 (代表)

TEL: (03) 6272-1099